

この度、令和5年7月11日頃から当団体のメールアドレスを使った不審なメールが不正に送信されるという事例を確認しました。差出人は三井住友銀行、Amazon ですが労福協のメールアドレスから送信されています。当団体からは、このようなメールは送信していません。

「内容に心当たりがないメール」や「差出人とメールアドレスが異なるメール」を受信された場合は、ウイルス感染や不正アクセスなどの危険性がありますので、添付ファイルの開封やメール本文中の URL のクリックは行わず、メールごと削除していただきますようお願いいたします。

万が一、不審なメールの添付ファイルを開封された場合や URL をクリックされた場合は、お手数ですが速やかにご使用中のパソコンから LAN ケーブルを抜き、ご利用のセキュリティ管理会社等へご報告いただくなど、必要な措置を講じていただきますようお願い申し上げます。

この度、このようなメールを受信された皆様には多大なご迷惑をお掛けしたことを深くお詫び申し上げます。

【不信メールの例】

"送信者名"と<送信元メールアドレス>が異なります。

差出人："三井住友銀行"<労福協メールアドレス>

差出人："Amazon.co.jp"<労福協メールアドレス>